

## 平成 30 年度 県立高等学校における中途退学者数等の状況

### 1 中途退学の概要 (表 1 参照)

- 平成 30 年度の県立高等学校における中途退学者数及び中途退学率は、全課程の合計で見ると減少。
- 中途退学者数は、合計 432 人 (前年度比 102 人減)。全日制 239 人 (前年度比 14 人増)、定時制 141 人 (前年度比 17 人減)、通信制 52 人 (前年度比 99 人減)。
- 中途退学率は、合計 1.08% (前年度比 0.24 ポイント減)。全日制 0.66% (前年度比 0.04 ポイント増)、定時制 8.24% (前年度比 0.83 ポイント減)、通信制 2.42% (前年度比 4.4 ポイント減)。

(表 1) 中途退学者数・中途退学率推移

	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0
全日制 中退者数(人)	314	285	242	225	239
中退率(%)	0.83	0.76	0.65	0.62	0.66
定時制 中退者数(人)	221	208	210	158	141
中退率(%)	11.25	10.92	11.38	9.07	8.24
通信制 中退者数(人)	109	60	72	151	52
中退率(%)	4.81	2.67	3.24	6.82	2.42
合計 (人)	644	553	524	534	432
中退率(%)	1.53	1.33	1.27	1.32	1.08

※ (中退率は年度当初の在籍生徒数に対する割合)

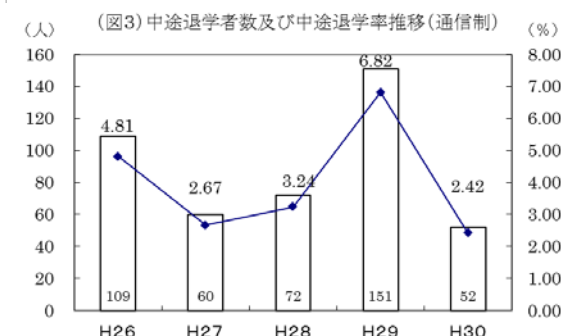
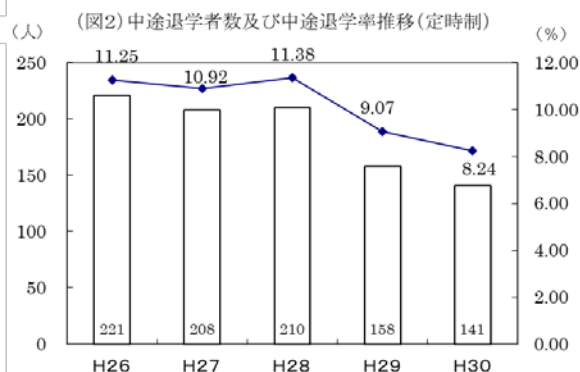
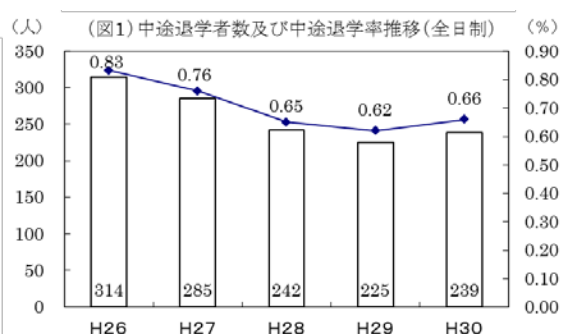
### 2 課程・学科・学年別中途退学者数等

(図 1・図 2・図 3・表 2 参照)

- 課程別の中途退学者数及び中途退学率は、全日制 239 人 (中途退学率 0.66%)、定時制 141 人 (中途退学率 8.24%)、通信制 52 人 (中途退学率 2.42%)。
- 学科別の中途退学者数及び中途退学率は、普通科 131 人 (中途退学率 0.65%)、専門学科 76 人 (中途退学率 0.57%)、総合学科 32 人 (中途退学率 1.19%)。
  - 学年別の中途退学者数及び中途退学率は、1 学年 80 人 (中途退学率 0.88%)、2 学年 73 人 (中途退学率 0.80%)、3 学年 15 人 (中途退学率 0.16%)、4 学年以上 0 人 (中途退学率 0.00%)、単位制 264 人 (中途退学率 2.09%)。
- 中途退学者全体に占める割合は、1 年生 18.5%、2 年生 16.9%、3 年生 3.5%、4 年生以上 0.0%、単位制 61.1%。

(表 2) 課程・学科・学年別中途退学者数及び中途退学率

	全日制			定時制	通信制	合計	
	普通科	専門学科	総合学科				
1 年生	在学者数 (人)	5,246	3,815	25		9,086	
	中退者数 (人)	55	23	2		80	
	中退率 (%)	1.05	0.60	8.00		0.88	
2 年生	在学者数 (人)	5,226	3,831	24		9,081	
	中退者数 (人)	50	21	2		73	
	中退率 (%)	0.96	0.55	8.33		0.80	
3 年生	在学者数 (人)	5,329	3,766	24		9,119	
	中退者数 (人)	6	7	2		15	
	中退率 (%)	0.11	0.19	8.33		0.16	
4 年生	在学者数 (人)	-	-	13		13	
	中退者数 (人)	-	-	0		0	
	中退率 (%)	-	-	0.00		0.00	
単位制	在学者数 (人)	4,319	1,872	2,697	1,626	2,147	12,661
	中退者数 (人)	20	25	32	135	52	264
	中退率 (%)	0.46	1.34	1.19	8.30	2.42	2.09
合計	在学者数 (人)	20,120	13,284	2,697	1,712	2,147	39,960
	中退者数 (人)	131	76	32	141	52	432
	中退率 (%)	0.65	0.57	1.19	8.24	2.42	1.08



### 3 中途退学者事由別 (表 3・表 4・表 5 参照)

- 課程別の中途退学者の事由は、全日制では「学校生活・学業不適応」38.1% (前年度比 4.6 ポイント減) が最多で、「進路変更」32.6% (前年度比 0.7 ポイント減) の順。
- 定時制では、「進路変更」31.2% (前年度比 3.0 ポイント減) が最多で、「学校生活・学業不適応」27.7% (前年度比 4.9 ポイント増) の順。
- 通信制では、「その他の理由」30.8% (前年度比 47.3 ポイント減) が最多で、「家庭の事情」25.0% (前年度比 15.7 ポイント増) の順。